

CT検査予約票

様 検査は 月 日 (曜日) 時 分からです。

30分前には来院し受付を済ませてください。

(救急等により検査開始時間が遅れる場合もございますのでご了承ください。)

【CT検査のご説明】

- CT検査とはエックス線を使って身体の断面を撮影する検査です。
- 検査時間は検査する内容により異なりますが、通常5分～20分程度です。
- より精密に調べるために薬剤（造影剤）を使用した検査を行う場合もあります。

【CT検査での注意事項】

- 腹部の検査あるいは造影剤を用いる検査をお受けになる方は検査前の食事はお控えください。
(検査前、3時間は食べないようにしてください。(水分は可能です。))
- 服用中のお薬がある方は、通常通りお飲みください。ただし、造影検査を受けた方で糖尿病のお薬を服用されている方は種類により一定期間服用を中止していただきます。
- 補聴器、アクセサリ、エレキパン、ワイヤーやホックのついた下着、入れ歯等の金属類は画像に影響しますので外していただく場合があります。
- 現在、妊娠あるいは妊娠の可能性がある方は申し出てください。

【安全に検査を受けていただくために、下記項目のチェックおよび記入を宜しくお願いします。】

今までに造影剤を用いた検査を受けたことがある。	有・無	検査名()
その時、吐き気、かゆみ、蕁麻疹や咳の症状があった。	有・無	有の場合、造影検査を中止する場合があります。
花粉症または喘息の症状がある。	有・無	有の場合、造影検査を中止する場合があります。
上記「有」の方へ、現在も治療している。	有・無	有の場合、基本的に造影検査は中止いたします。
上記以外のアレルギー性の病気や体質がある。	有・無	有の場合、造影検査を中止する場合があります。
糖尿病のお薬を服用している。 (薬名)	有・無	ビグアナイド系の服用は、造影検査前後2日間の服用を中止して頂いています。
造影検査を受ける女性の方へ、現在、授乳中である。	有・無	有の場合、検査後48時間は授乳を中止して頂いています。

検査当日の流れ

1 受付 検査時間の30分前に受付

- 保険証、診療情報提供書、予約票(この用紙)を確認いたします。
(検査説明書は持参しなくてもいいです。)

2 放射線科

- 受付より放射線科へご案内いたします。
- 造影検査時には問診、同意書を確認します。

3 検査開始

- 検査着に着替えていただく場合もあります。

4 検査終了

- 会計を行うために受付へご案内いたします。

5 会計

- 画像CD(DVD)をお渡しいたしますので、紹介元の病院での診察日に持参しお渡しください。
基本的に報告書は、紹介元の病院に郵送いたします。(1週間から10日前後)



予約あるいは受付方法など、何かご質問がありましたら地域連携室までご連絡ください。

また、検査内容についてのご質問は画像診断検査センターまでご連絡ください。

昭南病院 地域連携室 099-482-0623 (直通ダイヤル)

画像診断検査センター 099-482-0622 (内線135)

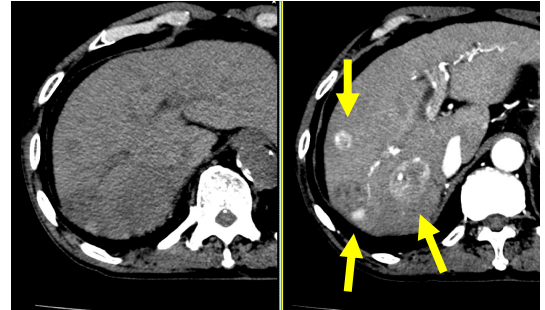
造影CT検査説明書

【造影CT検査をお受けになる患者様へ】

造影CT検査を受けられる方には、アレルギー等に関する問診と以下の説明文及び医師による説明をご理解した上で造影検査を受けるための同意書へのご署名をお願いしております。なお、同意書に記入された後に造影剤の使用を拒否されてもかまいませんので、そのときは申し出ください。

造影CT線検査とは

造影CT線検査とは、約100cc前後（体重や目的により量は変更されます。）のヨードを含む検査薬（造影剤）を血管内に注射しながら行うCT検査です。造影剤を使用する事により、血管の走行状態や臓器の血流状態、病変の大きさなどがわかり診断に大変役立ちます。造影剤は通常、注射後6時間で約90%が腎臓から尿として排泄され、やがて全て体外に排出されます。



右：造影剤なし 左：造影剤あり
黄色矢印：肝臓内にある腫瘍

検査前の食事について

検査前3時間は食事をとらないようにしてください。ただし水分は可能です。

造影剤の副作用について

CT検査用の造影剤は安全な薬剤ですが、全く危険性を無くすことはできていません。軽微な副作用を含めると、約3～5%以下（100人に3～5人以下の割合）で何らかの副作用が生じるといわれています。

- 造影剤の注射中に体全体が熱く感じることがありますが、数分で治まり心配ありません
- 軽い副作用（頻度は3～5%以下）
吐気、嘔吐、頭痛、めまい、蕁麻疹、発疹、かゆみ、手足のむくみ、発熱、せき、など
- 重い副作用（頻度は0.004%以下）
ショックやアナフィラキシー様反応（例えば呼吸困難や血圧低下など）が生じることがあります。また、極めてまれですが他の通常の薬剤と同じように副作用により死亡に至った例も報告（0.0001%以下）されています。
- 造影検査では、造影剤の効果を高めるために急速に体内に注入しますので血管に圧力がかかり血管の外に造影剤が漏れてしまい腫れ、痛みなどを生じてしまう方もおられますが、多くは時間が経てば自然と吸収され腫れや痛みも治まります。

今までに造影剤検査において副作用を起こしたことがある方、ぜんそく、花粉症などの疾患やお薬、食べ物等にアレルギーがある方、腎臓の機能が極端にわるい方や甲状腺機能亢進症と診断された方は副作用が生じる可能性が比較的高いため造影剤を使用した検査は中止される場合もあります。

副作用への対応について

問診の内容や患者様の状態により副作用を起こし難くする薬（ステロイドや点滴等）を注射するなどの処置をして副作用の発生リスクを極力抑えてから検査を行うこともあります。また、造影検査中は安全のために放射線科の技師あるいは医師や看護師が常に待機しており副作用が発生してしまった場合でも注射や点滴など症状に合わせた処置を迅速に行なえるように万全の体制を整えておりますのでご安心ください。

造影検査での注意事項

- 造影剤は尿から排泄されますので検査後は、水、お茶などの水分をいつもより多く飲んでください。
- まれに造影検査が終わり数日たってから、じんましん、むくみ、血圧低下などの症状が現れることがあります。その際は昭南病院にご連絡ください。
- 糖尿病のお薬（ジベトス・グリコラン・メトグリコ・ネルビス・メデットなど）を飲んでおられる方は、検査前48時間と検査終了後の48時間は糖尿病のお薬を服用しないでください。
- 造影剤は母乳中に移行しますので、造影剤注射後48時間は授乳を控えてください。

【造影CT検査の場合には、この説明書を患者様にお渡しください。】